



東海村

議会だより

第21号

2015.7

夏祭り!!

目次

6月定例議会	2
一般質問	4
委員会活動	12
議会報告会	13
9月定例議会日程	14

リコッティの買収や

平和安全法制の請願等を審議

平成27年第2回東海村議会定例会は、村長が大韓民国釜山で開催された機張(キジャン)フォーラムに参加するため、通常の日程を変更して6月5日に開会しました。15～17日には一般質問(14人)が行われ、22日の議案審議では3億4千万円のリコッティ取得費や9千万円の(仮称)歴史と未来の交流館建築設計業務委託料を含む、議案11件が全て可決されました。また、現在の国会でも95日間延長して審議されており、まず安保法案に関連して、東海村議会に提出された「平和安全法制(戦争法案)の慎重審議を求める意見書提出を求める請願」が審議され、反対多数で不採択となりました。

リコッティについて

【目的】

- 地方創生の一環として村が取り組む創業支援の拠点として活用
- 具体的には、創業を目指す又は操業初期の事業者(個人又は法人)に安価な料金で貸し出せるレンタルオフィス等を設置
- また、駅前という立地条件の良さを活かした来村者等への観光案内、地元土産品のPR・販売等、地域活性化に繋がる活動が行えるよう、観光協会事務局を設置
- 一般への貸出し(多目的ホール、会議室)

【活用方針】(レイアウト・活用時期等)

【1階】

- ラウンジ・ロビー
- ▼一般の方が自由に利用できる空間とし、観光協会のPRエリアを併設
- ▼軽食等の提供が可能な事業者向けにラウンジを貸し出し、集客及び事業化への足がかりとする。
- 多目的ホール・会議室
- ▼一般への貸出しによる活用
- ▼取得後において速やかに体制を整え、平成28年当初から貸出しを開始



【2階】 ●オフィスゾーン

- ▼創業支援の拠点としてレンタルオフィス等を設置
- ▼少人数用のオフィス、シェアードオフィス、商談等に利用できる共用ラウンジを備える。

●レンタルスタジオ

- ▼防音室を活用したレンタルスタジオを設置(機材は利用状況に応じて整備)

【3階】

- 会議室1・会議室2
- ▼一般への貸出し又は特定機関への貸出しを想定



機張フォーラムとは…機張フォーラムは、平成27年6月8日～10日に大韓民国釜山広域市パライスホテルで開催されました。本フォーラムは、世界中の原子力発電所を持つ自治体がメンバーとなり、原子力施設を持つ都市の発展と安全の推進を目的とし、原子力とその将来的な発展への道に關する主要な課題を中立的に議論するために開催されています。日本からは、本村以外に佐賀県玄海市、青森県東通村、静岡県御前崎市が参加しました。

(仮)歴史と未来の交流館とは

- 東海村の歴史や文化財を「伝承、資料収集、保存、展示」などにより次世代に繋げる施設。
- 未来を担う子どもたちが「観る、触れる、学ぶ、好奇心をはぐくむ」などの体験機能を有機的に活用できる施設。
- さまざまな世代による交流活動の創出や情報発信による新たな生涯学習を推進する施設。



各議員の賛否（議案・請願で賛否の分かれたもの）

会派名	新政会						新和とうかい				光風会			豊創会		日本共産党		公明党		無
議員名	鈴木 昇	飛田 静幸	村上 邦男	舛井 文夫	川崎 和典	吉田 充宏	大内 則夫	越智 辰哉	河野 健一	武部 慎一	江田 五六	恵利 いつ	照沼 昇	村上 孝	豊島 寛一	大名美恵子	川崎 篤子	岡崎 悟	植木 伸寿	相沢 一正
請願第27-2号 平和安全法制(戦争法案)の慎重審議を求める意見書提出を求める請願【不採択】																				
議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○
承認第2号 専決処分の承認を求めることについて(東海村税条例等の一部を改正する条例)【承認】																				
承認第4号 専決処分の承認を求めることについて(東海村国民健康保険税条例の一部を改正する条例)【承認】																				
議案第50号 東海村介護保険条例の一部を改正する条例【可決】																				
議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
議案第51号 平成27年度東海村一般会計補正予算(第1号)【可決】																				
議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×

○…賛成 ×…反対



公明党

岡崎

悟 議員

●請願第27-2号
平和安全法制(戦争法案)
の慎重審議を求める意見
書提出を求める請願

討

論

当該請願を審査するに際し、慎重審議を求める意見書提出に異を唱えるものではありませんが、(戦争法案)及び「戦争立法」の固定観念が呈示された請願では、結論ありきの協議進行となるとの意見が多数あり、審査の結果、不採択とすべきものと決定した。

審査：総務委員会

委員会報告

●請願第27-2号
平和安全法制(戦争法案)
の慎重審議を求める意見
書提出を求める請願



日本共産党

川崎 篤子 議員

●承認第2号
軽自動車税の減免申請期
間の延長やたばこ税の税
率の特例廃止などの改正
する条例

軽自動車税は、消費税10%段階
で実施検討とされていたため1年



日本共産党

川崎 篤子 議員

平和安全法制は、国会論戦を通じ日本国憲法9条に真つ向から違反する法制であることがますます浮き彫りに。8割前後の国民が「今国会で成立させるべきではない」と批判と怒りが広がっている。国会は延長せず廃案にすべき。

「不採択」に賛成です。真摯な議論を求めます。安全保障環境が厳しさを増す中、徹した平和外交努力を重ねた上で、万が一の時の抑止となる備えとして、「平和安全関連法制」による切れ目のない法整備が必要です。

先送りになった。引き上げ時期を1年間延期ではなく、きっぱり中止すべき。また、たばこ税の特別扱いの廃止は庶民増税であり、中止することを求める。

●承認第4号
地方税等の一部改正に伴う、国保税賦課限度額の引上げ及び国保税の軽減判定所得基準額の引上げ



日本共産党

大名美恵子 議員

保険税の賦課限度額はこの7年間で5回も改定され、17万円もの引き上げになった。この引き上げによる低所得層、中間層の軽減策では住民負担を増やすだけ。国庫負担の大幅引き上げと、保険税の引き下げこそ重要。

●議案第50号
法律改正に伴う、介護保険第1号被保険者一部区分での減額賦課に係る保険料率の変更



日本共産党

大名美恵子 議員

今回の軽減措置は、第1号第1段階の被保険者が該当。財源は、国、県、村から消費税8%への増税分の一部を充当。今後、消費税10%への増税分の充当も見込まれており、低所得者にとって、真の軽減策にならない。

●議案第51号
民間認定こども園への補助金や（仮称）歴史と未来の交流館の設計及び測量業務に伴う補正予算



光風会

江田 五六 議員

交流館建設は、学校・幼稚園等におけるものとは異質なものの。箱物行政が見直され「拡充から縮充」の時代にあつて、特に少子高齢化社会を見据え孫子の代までの長期展望での社会的、経済的状況分析が大変重要。審議会・議会、有識者、幅広い村民の意見を尊重し、拙速な進め方にならないようにすべき。

6月議会の一般質問

議員名	質問事項
江田 五六	▼これからの自治会活動における協働の位置付け▼村のまちづくりの一環として国家戦略特区制度を活用すべき▼水質の保全及び浄水場の安全対策
恵利 いつ	▼生活環境及び景観を考慮した太陽光発電施設のあり方▼避難計画を進める中でのモニタリングポストの増設▼ボランティアポイント・健康ポイント等を地域通貨に交換し、地域活性につなげる政策
吉田 充宏	▼まち・ひと・しごと創生▼第4次行財政改革大綱取組▼食育の推進▼原子力災害対策施設等整備費補助金
相沢 一正	▼原発再稼働と避難計画及び廃炉に伴う放射性廃棄物▼精神障がい者の障がい年金支給と就労機会の拡充▼マイナンバー制度
川崎 篤子	▼村道整備の進捗状況▼障害者プランの拡充▼米の生産に関する補助事業を求める▼東海第2原発広域避難計画▼霞ヶ浦導水事業の中止
岡崎 悟	▼白方小学校の駐車場対策▼AEDの設置対策▼コミセンと公共施設総合管理計画▼東海交番と防犯拠点▼白方小学校の砂ぼこり対策▼クレジットカード決済の進捗
河野 健一	▼阿漕ヶ浦及び周辺環境▼東部排水路の現状及び維持管理▼過去におこなった村道認定の考え方▼新入学児童へのランドセル無料配布
村上 孝	▼国の減反政策に伴う村の対応▼本村の農業振興基本計画▼東新川の河川管理に伴う対策▼食育推進行動計画
大名美恵子	▼米粉食品の活用推進▼就学援助制度の拡充▼地域包括ケアシステムに消防参入▼東新産業廃棄物最終処分場の跡地利用▼東海発電所3号機廃棄物の埋設計画▼第2回機張フォーラムへの参加
川崎 和典	▼白方小通学路の環境整備▼白方コミュニティセンターの環境整備▼英語教師の育成方針
舛井 文夫	▼「マイナンバー」制度▼農地中間管理機構（農地集積バンク）▼公共交通のバス路線▼税収の確保対策▼本村における小中一貫校▼第5次総合計画後期基本計画▼空き家対策▼区画整理事業の清算見込み
武部 慎一	▼外国にルーツを持つ児童等の日本語指導教育支援体制をどう考えているか▼国際化が叫ばれる中で、在村する外国人への生活サポートをどう考えているか▼東海村における積極的な情報発信に向けたIT化進捗状況、議事録等の公開は如何に▼東海村におけるインフラ施設・設備等の長期計画の検討状況等は如何に
植木 伸寿	▼第6期高齢者福祉・介護保険事業計画▼聴覚障害児に関する助成金▼生活困窮者自立支援制度の着実な実施
越智 辰哉	▼マイナンバー制度への対応▼高齢者福祉・介護保険事業計画の取り組み▼「子育てしやすいまち」のイメージアップ ▼行政協力員制度と回覧板▼住民提案事業

※ を掲載



問 村のまちづくりに地方創生活区

の活用を

答 当面は、ソフト事業で特色を出す

光風会 江田 五六 議員

議員 今、国が進めている地方創生事業・特区はソフト面よりハード面にうまく利用していった方が東海村民のためになると思う。そこで、駅西アクティビティパーク構想を提案する。

村長 この構想は、交流人口を活性化させるという意味でのまちづくりの一つ。それも地方創生の目玉になるが、ハード整備よりソフト事業でどれだけ特色を出せるかが重要。

議員 今の渾沌とした世の中で何が重要かを考え、今後東海村にとって5年、10年、50年先どういった社会システム、経済システムを作っていくかを考えることが一番大切な事だと思う。国道6号線は一日に31,000台。常磐道は27,000台。スマートインターは3,000台。



6万台前後の車が高速道路と国道6号を通っている。村の避難計画の中で国道6号の4車線化・スマートインターの大型バスの乗り入れを実現した上で榊橋から笠松運動公園の間に(仮称)駅西アクティビティパーク構想を提案する。実現すれば、村の玄関として、(地域経済・子育て・福祉・環境・教育・避難バスのステーション等々)位置付けられる。



問 ポイント制導入で地域活性を

答 まず先に、健康ポイントの事業化を検討する

光風会 恵利 いつ 議員

議員 持続可能な地域活性を進めるために、ボランティア活動や健康志向活動(健康講座・イベントへの参加、検診等の自主的な健康管理)等をポイント化し、貯まったポイントに応じて地域通貨(村内のみで使用可)と交換できるシステム作りを提案する。ポイントを集めてお楽しみがあるというのは、時代の流れと考える。

福祉部長 ボランティア活動に有償制を持たせることに疑問の声もあるが、取り組み方によっては新たな担い手の確保等、効果が期待できる。色々など意見を伺いながら慎重に進めたい。健康ポイント制度の導入は、若いうちから健康づくり習慣が定着するなど、村民の健康寿命の延伸につながる事が期待できる。事業化

に向けて検討する。

議員 集めたポイントを地域通貨に交換できる仕組みを作ること、持続可能な地域活性につながると考えるが。

村長公室長 地域通貨は、住民の地域活動参加を促進する有効な手段の一つと考えるが、その仕組みづくりには相当期間の検討と準備が必要。



地域通貨:練馬の「ガウ」、秩父の「和同開珎」(光風会で平成25年度視察)



問

行財政改革は、職員の意識改革が一番重要

答

意識改革の重要性を職員に対し啓発する

新国会 吉田 充宏 議員

議員 第3次行財政改革と第4次行財政改革との相違と特徴について伺う。

総務部長 基本的に大きな相違はない。第4次行革は、第5次総合計画後期基本計画との整合性を図るため、3年と短期である。

議員 第3次行革と第4次行革の相違は、「無い」とのことだが、常日頃から村長は、「まず職員一人ひとりの意識改革が必要」と言っている。一番の相違は、「職員の意識改革」ではないのか。どのように意識改革を行うのか。

総務部長 議員ご指摘のとおり、相違は「意識改革」にある。村長からも「できない説明より、やる方法を考える」、「どれだけ知っているかではなく、どれだけやったか」、「管理



職が率先して行動」など、意識改革の重要性について訓示を頂いており、職員に対し、啓発し、研修を行う。

議員 幹部の方々は職員に目的・問題意識をもって、課題に取り組みことを常日頃から啓発すること。意識改革には、コミュニケーションが一番重要である。



問

障害年金申請の際の窓口対応はどうか

答

障がい者の不安解消に努める

無会派 相沢 一正 議員

議員 村の「精神障害者保健福祉手帳」所持者のうち、障害年金受給者は何人か。

福祉部長 手帳所持者は、平成27年6月1日現在で172人、うち年金受給者は89人、52%である。

議員 報道によれば障害年金の不支給率に各県で差が出ており、茨城県は23・2%で、全国ワースト2位である。村はどう考えるか。

福祉部長 村は申請書の受付と、日本年金機構茨城事務センターへの進達事務を行っているが、支給・不支給の判定には関与していない。この審査は茨城事務センターで行っており、4人の認定医が月に2〜5回、障害等級の認定をする。申請書類等の確認は、事務センターの職員が行い、認定医の等級認定を経て決定が



下される。各県での差の原因を憶測することは控えるが、厚労省等の検討の動向を注視しつつ、障がい者からの問い合わせ等には丁寧に対応し、不安の解消に努めていく。



問

生活道路の利便性増す現状道路の舗装とは

現状にあつた手法で、生活道路の環境を改善

日本共産党 川崎 篤子 議員

議員 震災前に自治会要望が出され、たち切れになつていた村道はど

うなっているか。生活道路の速やかな改修や舗装は、多くの村民が待ち望んでいる。昨年度各地区に設けられたみちづくり検討委員会と村民の要望との関係はどうか。

建設農政部長 震災対応が優先された為に対応が遅れている箇所があることを御理解頂きたい。画一的な道路整備ではなく、みちづくり検討委員会

会で現道舗装を含めた様々な方法を検討し、より安全な道路の在り方を具体的に協議して整備手法を決めている。

議員 以前はなかった現道舗装の考え方を伺う。

建設農政部長 現道舗装は、幅員や排水等の問題があり、これまで実施

しなかった。各地区の現状にあつた手法を考え、生活道路の環境を改善できる箇所は、当該地区の関係者、権者、自治会及びみちづくり検討委員会

で協議し取り組みたい。

議員 村民要望の簿冊管理は部署の変更や人事異動時に、確実に遅滞ない引き継ぎが求められるかどうか。

建設農政部長 着実に引き継ぎます。



現道舗装予定地



問

白方小学校の学童協を駐車場にできないか

白方小用地の一部、学童協の活用を検討

公明党 岡崎 悟 議員

議員 平成25年3月議会で、白方小

学校「いにしえガーデン」協のスペースの駐車場化を求めて質問した。答弁では、「自家用車の有り方のルール、学校とコミセンの関わり方、地域に根差した学校、指定避難所として位置づけ、災害時の駐車スペースの確保等について、検討しなければ

ならない」でした。その後、どのような検討がされたのか。

教育次長 白方小学校は、児童数が多いため大きな行事の際は、駐車場の確保が難しい状況である。駐車場問題は、保護者が主体になり、学校や地域と協議して、ルール作りに取り組む必要があると考える。現在、その取り組みも進みつつある。しかし、根本的な解決に至っていない。白方小用地内に新たな駐車場ス

ペー

スの確保は、学校、地域、保護者にとつて、事故防止の観点から有効な対策の一つで、隣接の白方学童クラブ、白方コミセン等での活用も期待される。課題解決に向け、白方小用地の一部活用を前向きに検討していく。



白方学童クラブ脇歩道



問

新入生にランドセルを無料配布し
てはどうか

答

別な形での教育環境の整備に努め
ていく

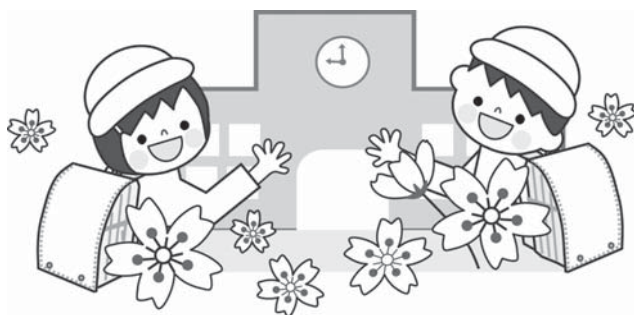
新和とうかい 河野 健一 議員

議員 県内でランドセルを無料で贈

る自治体が今年度4月に2カ所増
え、10市町になった。新たに実施す
る石岡市では、新入学児童へのお祝
いと保護者の負担軽減を図る目的で
実施されるとのこと。配布するラン

ドセルについては、定番の黒や赤に
加えオレンジや水色などからも選ぶ
ことができ、規格や仕様を設け通常
のランドセル同様にしかりした作
りになっているとのこと。本村でも
お祝いとして、保護者の負担軽減、
子育て支援の一環として検討しては
と思うが、考えを伺う。

教育次長 ランドセルは、小学校入
学の象徴でもあり、入学を迎えるお
子さんやお孫さんにランドセルを贈
る喜びに加え、6年間使い続ける自
分のランドセルを選ぶ楽しみという



問

農業の現状と、農業環境推進の振
興計画策定

答

10月ごろを目途に本村の農業振興
計画を策定

豊創会 村上 孝 議員

議員 国の減反政策に伴う村の対応
は。

建設農政部長 農家の皆さんが、安
心して米の生産を続けられるよう適
切な施策を講じる。

村長 国は今年度から10年間は飼料
用米での対応に力を入れる。農業環
境を維持し多面的機能を維持発揮で
きるよう具体的な施策を今後明らか
にしていく。

議員 転作の小麦作りは1kg当たり
1円にしかならず、補助金が出され
ていても十分ではなく、いかさず、
ころさずの政策である。後継者、新
規就農者は生まれにくい。農業振興計
画策定に係わる農業の現状は。

建設農政部長 本村の農業の現状を
一言で表現すれば農業で主な収入を
得ている農家は5%程度で、小規模



東新川

な農地を耕作する高齢農家が多いと
いうことになるかと思う。
村長 村としても国が進める政策を
注視し、村独自の農業政策を立案、
実施していく。
議員 東新川の改修及び県への要望
は。

村長 今年度の県政要望にも掲げて
いる。二級河川の指定延伸につき、
要望、要請を重ねていく。



問

放射性廃棄物L3は、埋設せず一時保管型に

答

埋設は必要。計画申請後丁寧な対応を求める

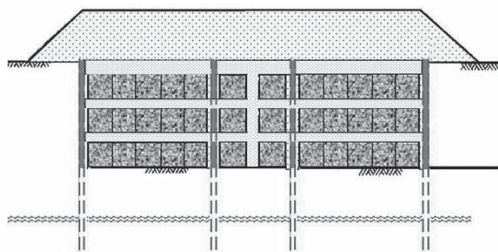
日本共産党 大名美恵子 議員

議員 原電の放射性廃棄物L3の埋

設計画は、コバルト60は1000万ベクレル/kg、セシウム137は10万ベクレル/kg、ストロンチウム90は1万ベクレル/kg以下という放射性廃棄物を、地下素掘り施設に埋設するもの。これを住民はほとんど知らされていない。比率的にコバルト60が放射能の9割余を占め、半減期が短いので環境への影響は少ないとしているが、セシウム137は50年後でも3万3000ベクレルまでしか半減しない。村や議会に地質や水系調査の結果を示さず、住民への事前説明もなしのままでは申請は見送るべき。

だき、事業の施行内容、事業中の安全対策、環境影響やその他詳細に十分な確認を行い、適切に対応する。原電には申請内容に基づき、議会や住民へのわかりやすい説明と丁寧な対応をお願いする。
議員 計画書申請前の丁寧な説明が重要。

村民生活部長 廃炉作業を停滞させないため埋設は必要とも考えている。計画書が出たら議会に審議いた



＜埋設施設断面概要図＞ 原電ホームページより



問

白方小通学路の環境整備

答

歩道整備の用地確保を含め協議をする

新国会 川崎 和典 議員

議員 ①東康建設工業株式会社前十字路から約100mの通学路の歩道整備。

この通学路は、中央部2.7mは舗装され畑側の土地は舗装されない歩道になっている。雨天時は、足元が泥等で悪いので歩道整備を迅速に望む。

②亀下地区の通学路整備。
従来の階段通学路が倒木等危険があるため歩道の狭い坂道になっている。一方ドライバーも対向車があると危険を感じる。早く従来の通学路を利用出来るようにして安全を確保してほしい。更に豊岡に行く坂道の十字路に信号機の設置を要望。

③通学路途中及び白方公園散策者を含むトイレの設置。
白方公園駐車場と原電通りの間に



東康建設工業(株)前十字路からの通学路

トイレの設置を要望する。
建設農政部長 ①歩道整備の用地確保を含め協議を進めたい。②今月中に使用出来るようにしたい。信号機については警察と協議をしていくので時間を頂きたい。③議員ご提案のトイレ設置場所を含め、小学校との協議、公園利用形態を検討する。



問

駅東口の三菱原燃の社員住宅の跡地利用は

答

株山新が取得し、ホームセンターを建設する

新国会 舛井 文夫 議員

議員 駅東口イオンに隣接する三菱原子燃料株式会社の職員住宅用地はどうなっているのか。

村長公室長 イオン東海店に隣接する三菱原子燃料株式会社の旧社員住宅地は、本年3月30日付けで株式会社山新が取得し、ホームセンターを建設予定とのことである。これまでの経緯は、昨年6月に三菱原子燃料側から、当地の売却を進める旨の話があり、村のまちづくりへの寄与を念頭に売却先を検討している話があった。その後いくつか、取得したい旨の話があったが、村のまちづくりに寄与できる売却先の選定には苦慮したと伺っている。最終的には、売却先が株式会社山新に決定し、3月30日に売買が成立している。取得について、山新から事前の相談はな

かったが国土利用計画に基づく届出が出されている。なお建築確認申請に必要な都市計画法に基づく地区計画に関する村への届出等については、現時点においては、まだ提出されていない。



解体中の三菱原燃の社員住宅



問

外国にルーツを持つ児童の日本語指導体制は

答

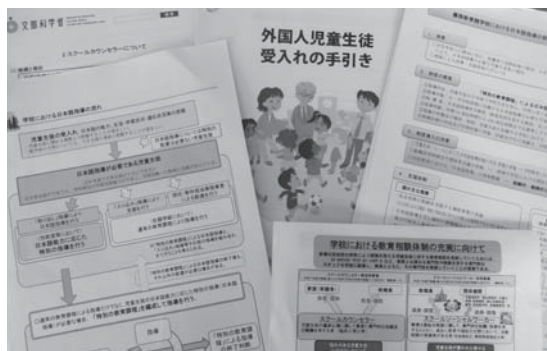
学校だけではなく生活全体の支援体制を研究

新和とうかい 武部 慎一 議員

議員 村では、多くの企業で日本語教室が開かれ、大人は支援がされている。家族で来村した児童は既存の小中学校に在籍し、期間によらず楽しく友と学び友と遊ぶ。このような生活ができる日本語の基本的な指導が必要である。これらを一手に担っている日本語指導ボランティアに対し何らかの支援体制が必要ではないか。

教育長 今年は週に2回日本語指導ボランティアを派遣し、関係者、保護者等が集まり、共通理解を持つて進めている。また、外国語指導講師と一緒に給食を取るなどの支援を実施。今後増加する可能性を見越して、関係者の連携を図り、児童生徒の支援を支える体制づくりを進める。

村長 国際化が叫ばれてはいるが、



文部科学省：「チームとしての学校・職員のあり方に関する作業部会」関連資料、「外国人児童生徒受入の手引き」、「学校における日本語指導の流れ」等（文科省HPより引用）

議員 地域包括ケアシステムを村の第6期計画にどう反映しているのか伺う。

福祉部長 計画は社会活動、介護予防、地域で支えあう生活支援体制、在宅医療・介護連携などを推進。今後、生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を小学校区ごとに設置することを検討中、今年度は協議体の設置に努める。

議員 認知症の対策について伺う。

福祉部長 認知症初期集中支援チームを設置に向け準備中。

議員 認知症を正しく「知る」ことが求められ、その上で認知症患者を「理解する」ことが必要と考える。フランスで考案された「ユマニチュード」というケア方法がある。これを普及させることを提案する。



地域包括ケアシステムの一環、
緑側につどう家 “であい”

福祉部長 介護サービスの基本理念は本人の尊厳を守り、能力に応じ自立した日常生活を営めるよう支援すること。ユマニチュードは包括的なコミュニケーションに基づいたケア技法である。今後、村内の事業所に啓発する。

議員 これからも地域医療の推進に力を入れるよう求める。

議員 東海村の子育て支援策は近隣自治体と比較しても充実していると評価するが、施策を充実することと合わせて出生率が県内でも上位であり「子育てしやすいまち」であるという東海村の現状・実態を、村外へ積極的に情報発信すべきではないか。例えば、インターネットテレビ「いばキラTV」で東海村が特集された動画の子育て支援版を作成してどうか。

副村長 子育て支援策については、経済的な支援や施設も含めて東海村は充実していると感じている。今後は、子育て支援策に磨きをかけることも重要であるが、村外へ情報発信し、「子育てするなら東海村」というイメージを定着させたいと考えている。その方策については、現在検討を進めている。



「いばキラTV」で特集された動画サイト（いばキラTV HPより転載）



討を進めている地方版総合戦略に盛り込み、プロモーションビデオや他市町村の手法も参考にしながら検討していく。



問 認知症ケアの「ユマニチュード」啓発を提案する

答 認知症ケアについても地域包括ケアシステムで行う

公明党 植木 伸寿 議員



問 「子育てしやすいまち」村外へ積極的に情報発信すべき

答 総合戦略の策定のなかで具体的な方策を検討する

新和とうかい 越智 辰哉 議員

文教厚生委員会

「職員と住民の協働参画が運営に不可欠」を再確認

文教厚生委員会（岡崎悟委員長他6人）は、6月定例議会において、（仮称）歴史と未来の交流館の建築設計業務委託料（平成27年度1,340万円）が承認されたことから、本事業のあり方、運営方針、施設設備等の課題等について先駆的に進められている博物館等の状況を調査した。地域の先人、達人を軸として歴史を学ぶ福井県立こども歴史文化館。古文書収蔵を目的とした京都市歴史資料館、埋蔵文化財遺跡を軸とした兵庫県立考古博物館。地域の歴史文化等を中心に新しい博物館を目指す練馬区立石神井公園ふるさと文化館を視察。それぞれ地域独自の企画を通して、地域文化への誇りと熱い思いを発信している。また、博物館を支える地域の住民や専門家も含めて多くのボランティア集団の積極的参画無しに、この事業が成立しないことは明白であり、今後、積極的な事業体制整備が望まれる。



福井県立こども歴史文化館

建設農政委員会

「顔の見える範囲で支え合う」地域自治を学んだ

建設農政委員会（舩井文夫委員長他6人）は、地域自治組織の活動状況を調査するため、愛知県飛島村（人口4,500人）、岡山県笠岡市（人口51,000人）、与布土地域自治協議会（兵庫県朝来市）（人口32,000人）などを視察。各所において今後、東海村が推進する自治組織の再編と支援のより良い在り方をめぐり、各市村の議会議長や行政執行部との活発な議論を交わした。各所とも聞き取りによる調査が中心となったが、「人口減少」「少子高齢化」の大きな課題を抱え、10年前あるいは、20年位前からの地道な取り組みが認められ、それぞれがモデル地域を生み出すなど結果を出していた。活動単位は小学校区、集落単位が主であり「顔の見える」「互いに支え合える」間柄での事業である。その上で行政は、まちづくりの活動に踏み切れないでいる地域に向かい、より多くの住民参加を目指し目標を定め、粘り強い広報活動（10数人程度の小単位）が展開され「まちづくり活動」への合議、納得のうえ、その手応えを感じつつ取り組んでいたところが印象に残った。今後は「自治組織の再編及び支援の在り方の見直し」にあたっては各現場の中で、必要に応じ学んできた感想も踏まえながら、提案等を行っていきたいと考えている。



与布土地域自治協議会（兵庫県朝来市）

初めての議会報告会

議会からの情報発信と住民の意見を聴取



東海村議会は、初めての議会報告会を5月17日（中丸コミュニティセンター）と19日（舟石川コミュニティセンター）で開催しました。これは議会情報の発信と住民からの意見を聴く場として行ったもの。参加者は両日とも約50人でした。

前半は、鈴木昇議長のあいさつに引き続き、飛田静幸・議会活性化特別委員会委員長より委員会での検討状況や議会報告会開催に当たった経緯等について説明がありました。その後、2つの予算決算委員会の委員長から当初予算などについて、3つの常任委員会の委員長から委員会に付託された請願の審査状況や担当している行政内容の調査状況について報告しました。

後半は、参加した住民から「子どもたちのために公園を整備してほしい」「ボランティアの後継者が不足している」などの意見が出され、各担当委員長が回答しました。

議会活性化 特別委員会は…

平成26年3月、開かれた議会を目的に設置され、これまでに議会運営や住民参加、議員定数・議員報酬などについて検討しました。委員会の原則公開、予算の通年審査等の検討結果を本議会に報告しています。

今回の議会報告会は情報発信と住民参加の一つとして実施したものです。

〈報告した各委員会〉

- 一般会計予算決算委員会（大内則夫委員長）
- 特別会計予算決算委員会（村上邦男委員長）
- 総務委員会（村上孝委員長）
- 文教厚生委員会（岡崎悟委員長）
- 建設農政委員会（舩井文夫委員長）
- 原子力問題調査特別委員会（豊島寛一委員長）
- 議会報編集委員会（川崎篤子委員長）

〈自由意見〉

- ・委員長報告は説明のポイントの資料がほしい。
- ・委員会報告はそのとき話題の2つ程度にしばってはどうか。
- ・若い世代も参加するように工夫が必要。
- ・議員の生の声が聞けて良かった。
- ・参加者が少なかった。報告会開催の広報が足りない。
- ・非常に良い機会を提供していただき感謝します。
- ・少しでも住民の意見を分かってもらいたい。
- ・定期的な開催を希望します。大変良かった。次回も参加したい。
- ・今後の活性化に期待しています。

ハーモニ―東海第16期生議会一般質問を傍聴

ハーモニ―東海第16期生が6月16日、6月議会の一般質問を傍聴しました。傍聴を終えた研修生からは、次のような意見が出ました。



- ・普段なかなか入ることのない場所へ入った。一般の人でも聞きやすかった。
- ・議会でのやり取りの中で私たちの暮らしが良くなるよう変わっていくのだと思った。
- ・村民の意見、要望が議員を通して伝わっていると感じた。
- ・傍聴者がたくさんいて驚いた。
- ・機会があればまた傍聴したい。

用語解説

○可決・否決と

採択・不採択の違い

…可決・否決は議案の結果のときに使い、採択・不採択は請願や陳情の結果のときに使います。

○請願と陳情とは

…請願や陳情は、国や地方公共団体等に対し、要望を申し出ることです。請願は紹介議員が必要です。陳情は紹介議員が必要ありません。

9月定例議会日程(予定)のお知らせ



村内各コミセン
総合福祉センター「絆」
でライブ配信中

期 日	時 間	内 容
9月 1日(火)	午前10時～	開会
9月 9日(水)	午前10時～	一般質問
9月10日(木)	午前10時～	一般質問
9月11日(金)	午前10時～	一般質問
9月14日(月)	午前 9 時～	予算決算委員会

期 日	時 間	内 容
9月15日(火)	午前 9 時～	予算決算委員会
9月16日(水)	午前 9 時～	予算決算委員会
9月18日(金)	午前10時～	予算決算委員会
9月25日(金)	午前10時～	議案審議

※日程は変更になる場合があります。

※開会・一般質問・議案審議は、議会棟2階の議会事務局窓口で住所・氏名等を記載するだけで、どなたでも傍聴できます。

編集後記

我々議員の任期も来年一月末を迎えております。議会報編集委員会といたしましては、議会活動を出来るだけ判り易く、及び個々の議員の意見の違い等も鮮明にしたいとの紙面づくりに腐心しております。特に3ページの、各議員の賛否の分かれた表などは皆様の興味を引くのでは、と自負しております。

(照沼 昇)

議会報編集委員会

委員長	川崎 篤子
副委員長	河野 健一
委員	大内 則夫
	豊島 寛一
	川崎 和典
	照沼 昇
	植木 伸寿